

若桜町立若桜学園の教育推進全体構想

若桜町の子どもたち

よさと課題

- ・ 素朴で素直である。
- ・ 思いやりがある。
- ・ 規範意識が高い。
- ・ 活動にまじめに取り組める。

- ・ 受け身であることが目立つ。
- ・ 自分自身の意見をもちにくく、表現することが苦手である。
- ・ 学力の二極化傾向が進んでいる。

若桜町小中一貫教育の理念

- ・ 連続性を踏まえた教育をする
- ・ より豊かな学びと人格形成を創造する
- ・ 地域と共に育む教育を行う

若桜町立小中一貫校の特性

- ☆ 自尊感情（自信、自覚、あこがれ）を生む、異学年交流活動、学校行事
- ☆ 各ブロック、発達段階の特性を生かした指導
- ☆ 表現力、コミュニケーション力を高めるためのスパイラルな指導

校訓

自ら立て、正義に立て、社会に立て

教育目標

若桜を愛し、世界に羽ばたく、心豊かでたくましい子どもの育成

めざす子ども像

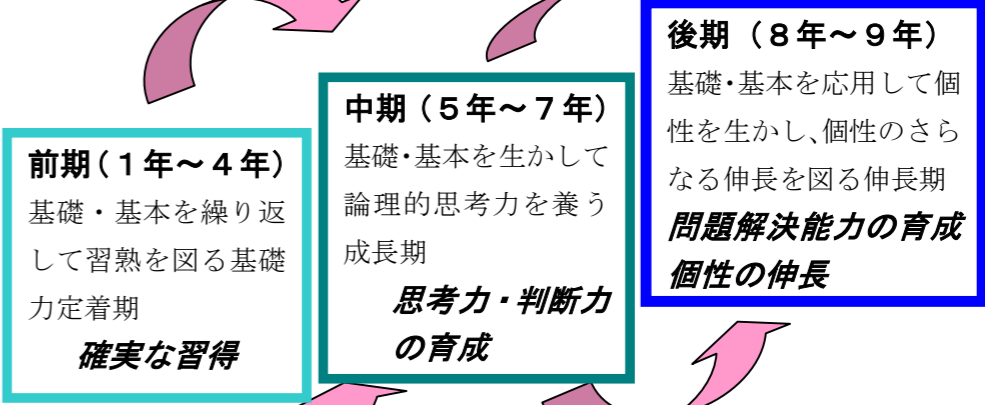
・ 求める子 ・ つながる子 ・ 高める子

9年間積み上げを生かしていくもの

- ① 学習規律
- ② 教科領域ごとの系統立て（スムーズな接続）
- ③ 授業スタイル
- ④ 評価

保護者や地域の願い(アンケート調査より)

- ・ 確かな学力の定着
- ・ 表現力・コミュニケーション力の伸長
- ・ 体力の向上
- ・ 自主、自立
- ・ 心豊かな子



求める子

つながる子

高める子

身の周りの事象に対して興味や関心を持ち主体的に課題を追求する子

周りの人と積極的に関わろうとする表現力やコミュニケーション力を身につけ、家庭、学校、地域で様々な人と関わり、自分の世界を広げようとする子

自分自身の経験や学習で身につけた力を生かし、自ら設定した課題の解決に向けて取り組みよりよく生きようとする子

重点項目 **自主性**

重点項目 **表現力・コミュニケーション力**

重点項目 **活用力**

前期 様々なことに興味・関心を持ち、進んで行動できる。
中期 様々なことに疑問を持ち、自分で考え行動できる。
後期 自ら課題を見つけ、困難なことを克服し自己実現できる。

前期 自分の思いを伝え、相手の気持ちを考えながら行動できる。
中期 積極的に話したり聞いたりして相手の気持ちを考え、好ましい人間関係をつくることできる。
後期 自らの思いを表現し、周りの人の立場を尊重しながら、互いに認め高め合う人間関係を築くことできる。

前期 基礎基本を身につけ、学んだことを生活で生かそうとすることができる。
中期 自ら学んだことを生かし、より深く思考・判断することによって、生活に広げることができる。
後期 学びの積み上げによって身につけた力を応用し、個性を生かして、よりよい生き方につなぐことができる。